職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東北電子専門学校	昭和51年3月31日	佐藤 公一	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人日本コンピュータ学園	昭和61年10月22日	理事長 持丸 寛一郎	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
目 的	IT業界で活躍するために必要な実践的かつ専門的なスキルを持つモバイルエンジニアを育成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	スマートフォンアプリ開発科	2年(昼)	2052 単位時間 (又は単位)	平26年 文部科学省告示 第7号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	342 単位時間 (又は単位)	28.5 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1881 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100 人	36 人	1人	4人	5人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・レポートおよび授業に取組む姿勢をもとに評価	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月24日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月7日 ■春 季：3月21日～4月6日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	年間800時間以上履修しており、2年間で1,700時間以上履修していること、かつ履修すべき全科目の評定が合格していること	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任及び学生サポート室を中心に指導			課外活動	■課外活動の種類 バス旅行、スポーツ大会、等 ■サークル活動 (有) 無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 IT 業界 ■就職率※1 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 90.5% (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)			主な資格・検定	ITパスポート 基本情報技術者 情報検定 ビジネス能力検定 ジョブパス サーティファイJavaプログラミング能力認定試験	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 5.3%</p> <p>平成27年4月1日在学者 38名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 36名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更(就職)・学業不適応</p> <p>■中退防止のための取組 担任及び学生サポート室を中心としたフォローおよびカウンセリング</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.jc-21.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本科の教育課程の編成においては、モバイルシステム開発について知見のある企業、業界団体などが委員として参画する「教育課程編成委員会（Web・モバイル分野）」を設置し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保する。

委員会では、業界の人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、今後必要となる知識や技術などを分析し、実践的職業教育に必要な授業科目の開設や授業方法の改善の提案を行い、企業等の要請を十分に生かした教育課程の編成に資する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
齋藤 善洋	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
早川 智子	株式会社メンバーズ
佐藤 祐司	株式会社ラフィング
山崎 徹	東北電子専門学校 学科主任
熊谷 由美子	東北電子専門学校 学科主任
星 孝	東北電子専門学校 教務課長
高桑 博道	東北電子専門学校 教務主任

(開催日時)

第1回 平成27年11月26日 17:00~18:06

第2回 平成28年 3月14日 17:00~18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実践的かつ専門的な能力を育成するために、企業等と組織的な連携を取った実習が重要と考えている。また、企業の選定にあたっては、実践的なアドバイスを受けて必要なスキルが修得できるように、現役のエンジニアを派遣でき、その指定施設で実習・演習の指導ができることを要件とする。

科目名	科目概要	連携企業等
WebプログラミングⅡ	UI, UX の概念を取り入れたプログラム開発を行う為の技法を学ぶ。これに加えて画面デザインのクオリティを向上させる為にデザインの基礎を学ぶ。	株式会社メンバーズ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学校は、教員に対する研修の必要性を把握し、その必要性に応じて研修計画を策定し、計画に基づいて研修を実施する。その内容として、専攻分野の実務に関する知識や技術及び授業や生徒に対する指導力等を修得させ、教員の能力及び資質等の向上を図る。必要な場合は、他の機関や企業等と共同して又は外部の機関に委託して研修を行うことがある。

これらについては、「学校法人日本コンピュータ学園 教員研修規定」に定めており、この規定に基づいて研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
小野 仁	宮城県産業技術総合センター
金子 篤	株式会社ピコラ
菊田 正信	東北管理株式会社 (卒業生)
栗原 憲昭	株式会社盛総合設計
佐藤 浩之	株式会社アルゴグラフィックス
佐藤 富士夫	宮城県電気工事工業組合
柴森 則夫	株式会社ミヤギテレビサービス
庄司 直人	株式会社リード・サイン
関口 靖志	株式会社ヤマハミュージックリテイリング
角田 透	株式会社JC-21教育センター
手島 幸治	リコージャパン株式会社
徳田 辰吾	株式会社舞台ファーム
西村 宜起	東北芸術工科大学
早川 智子	株式会社メンバーズ
四ツ柳 隆夫	東北大学

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ及び広報誌等において公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程スマートフォンアプリ開発科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職対策Ⅰ	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。	1通	57.0		○		
○			プレゼンテーション	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。	1後	57.0		△		○
○			IT概論	情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・アルゴリズム・技術動向などを学びます。	1通	142.5		○	△	
○			情報リテラシー	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。	1前	57.0		△		○
○			データベース入門	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLの基礎などを学びます。	1前	57.0		○	△	
○			ネットワークセキュリティ	ネットワークの役割や基礎知識・ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。	1前	57.0		○	△	
○			プログラミング言語Ⅰ	C言語とProcessingでプログラミングとオブジェクト指向の基礎を学んだ後Javaを学習します。加えて、Eclipse等の開発ツールの操作について学びます。	1通	228.0		△		○
○			WebプログラミングⅠ	PHPとXAMPPを使ってサーバーサイドプログラミングやクライアントとサーバの連動について学びます。	1通	85.5		△		○
○			スマホアプリ開発Ⅰ	Android、iPhone両方で動作する小規模なアプリの開発手法を学びます。	1後	85.5		△		○

○		スマホアプリ企画	魅力的なスマホアプリを開発するための発想やアイデアの出し方、企画の立て方などについて学びます。	1 後	28.5		△		○
○		Webコンテンツ	XHTML、CSS、HTML5、JavaScript 等を使ってブラウザ向けのアプリケーション開発の基礎を学びます。	1 前	85.5		△		○
○		Linux 概論	Linux の一般ユーザレベルの求められるスキルを学びます。基本的なテーマから LPIC 認定資格の出題範囲までをカバーします。	1 後	85.5		△		○
○		就職対策Ⅱ	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。	2 前	57.0		△		○
○		XML	インターネット上のさまざまなデータを記述する言語である XML の基本的な部分を学習します。加えて最近 XML と並んで使われることの多い JSON についても学びます。	2 前	85.5		△		○
○		スマホビジネス	スマホビジネスの全体像を「Web マーケティング」と「Web ディレクション」（要件定義、企画、設計）の分野と併せて学びます。	2 後	85.5		△		○
○		プログラミング言語Ⅱ	1 年次のプログラミング言語Ⅰの学習をさらに発展させ、スマホアプリ開発に必要なプログラミング能力にさらに磨きをかけます。	2 通	114.0		△		○
○		Web プログラミングⅡ	1 年次で学んだ内容をもとに、Ajax やデータベースとの連動といった実践的なテーマに取り組みます。	2 前	114.0		△		○
○		スマホアプリ開発Ⅱ	Java 言語を使った Android アプリの開発をメインに学習します。1 年次で学んだ基礎をもとに、高度な技術を使った、かつオリジナリティを追及した作品を作ります。	2 通	171.0		△		○
○		RIA プログラミング	リッチな画面や機能を実現するための RIA (Rich Internet Application) プログラミングについて学びます。Flash とその関連技術 (Flex4, ActionScript3.0) を中心に、HTML5 の canvas 機能や Processing.js 等を使ってスマホ上で動作するプログラムを作る為の技術を学びます。	2 通	171.0		△		○
○		卒業研究	2 年間の学習の総仕上げとして、グループに分かれてテーマを決めてスマホアプリの設計開発、ならびに成果発表を行います。	2 通	228.0		△		○

		○	ボランティア活動	校内外におけるボランティア活動を行います。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	CGアプリケーション入門	3次元CGの初歩的な制作方法を学びます。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	英会話基礎	日常英会話の基礎を学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	コミュニケーションスキル講座	円滑な対人関係、組織の活性化、および、良いコミュニケーションに必要な「話す」「聞く」といった知識と能力を身につけます。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	就職作文対策	就職試験で出題されることが多い作文について、基礎的な書き方やコツなどについて学びます。	1 後 2 後	28.5				○
		○	経営とビジネス	技術者にも必要な会社における会計の基本と経営との関係について学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	実践カラーコーディネート	配色調和、色彩心理などカラーコーディネートの知識を基に、対象別の実践的配色技法を習得します。	1 後 2 後	28.5		○		△
合計					20科目	2052単位時間 (				単位)